

発行/村山市議会 編集/議会だより編集委員会

# ぎかいだよりむらやま



2014  
vol.80

2014年1月15日  
発行

写真/楯岡高校弓道部

<http://www.city.murayama.lg.jp>

携帯からはコチラ→



# 対談

## TALK

新規就農者 反町 舞

×

議長 海老名幸司



第23代議長  
海老名 幸司

雪が多いけれど  
それも  
楽しみながら  
暮らしています  
(反町)

さる12月9日、議長公室にて議会だより編集委員とともに対談を行いました。和やかで若々しい意見が交わされました。

—今日は、お忙しいところ議長との対談にお越しいただきありがとうございます。早速ですが、反町さんの故郷と村山市の印象をお聞かせください。

(反町) 私は群馬県玉村

町から来て四年目です。村山市とふるさととは似ていると思います。山が流れていて、山が流れていて。農業がしたくて村山市に来たのですが、最初はここに残るとは思っていました。近所の方々との繋がりがとてもいいと思います。もちろん良い面悪い面ありますが良い面の方が多いいですね。みんな文句を言いながらも面倒見が良く、新幹線も通っていて交通の便もいいし、雪が多いけど、それも楽しみながら暮らしています。

—人のつながりの話がありました。議長はど

のようにお考えですか。(海老名議長) そうですね。村山市は他の市町村と比べても人と人の繋がりが強く、それを大事にしていると思います。地域の伝統や文化なども大切にしていますし、四季折々はつきりしていて日本らしさを一番感じられるところだと思いますね。

—農業をしていらっしゃる反町さんですが、行政に望むこと、期待することなどありますか。

(反町) 他県と比べると支援は手厚いですが、融通が利かない感じがします。新規就農者に対して行政と一緒に勉強してく

もつと行政と近い関係が築ければ良いと思っています。

—お二人の農政に対する思いはどうですか。

(海老名議長) 一言では言えませんが、就農者が減っているのが現状です。魅力があれば新規就農者も増えると思いますが、若い反町さんはどのように考えますか。

(反町) 就農者の集まりで感じたことなのですが、楽しそうに自分の仕事をアピールしている人が少ないと感じました。農業自体を楽しんでいる人がいないのではないのでしょうか。親が農業しているから就農していると言う理由が多いですね。もつと自分を売り込むことをして欲しいと感じました。

—議会に対してはどのように思っていますか。

(反町) 若い世代は議会へ



### ぎろん ピックアップ

12月議会では、こんな議論がありました。

#### ▼成立した条例

●55歳を超える職員の昇給を抑える条例

年齢による賃金差別で職員の士気や若手職員の将来設計に影響を与える。成績主義、人事評価の競争が強まりギスギスした職場になるから反対という意見も出ました。

人事院勧告で国や県も行い、民間の動向に照らしても必要だと言う意見で可決されました。

●水道事業給水条例等の一部を改正する条例

平成26年4月からの消費税アップに対応するための改正ですが、市民の生活を考えた時に負担増は避けるべきとの意見も出されましたが、可決されました。



# 笑顔

## SMILING FACE



新規就農者

反町 舞さん  
そりまち まい



「地域おこし協力隊」の2期生としてガールズ農場で農業に従事していた反町さん。昨年村山市の青年と結婚し樽石にて農業を営んでいます。ひっぱりうどん研究所にも所属して地域づくりにも積極的に取り組んでいます。

がしていることがわからないですね。知ろうとしていないこともありすが、伝わっていないような気がします。  
(海老名議長) 若い人と接する機会が議員もないですね。どうやって接していくか、今まではチャンスがなかったと思います。その辺も変えていきたいですね。そういう点

では我々もPR下手だと考えています。  
(反町) いま「縁側ごろつき市」など若い人が活性化してきています。議員も、ちよつとずつ若い人に歩み寄って欲しいですね。視察じゃなくて遊びに来る感覚で来て欲しい。甌葉プラザのイベントも、子ども達を対象にしたものもあるので、ぜひ



ひ来て欲しいです。  
——個人的に村山市に望むことはありますか。  
(反町) 樽石に住んでいて、高齢者が多いので、

もつと伝統とか知識、特技を聞きたいと思います。高齢者を活かせる方法を考えて欲しいと思います。あと森の幼稚園が欲しいですね。自然の中で子育てしたいと言う人もいますからね。

——若い方からのご意見を聞いてきましたが、議長の思いはいかがでしょうか。  
(海老名議長) 議員各自は皆それぞれ思いを持って動いています。ただそれがなかなか市民に伝わらないのが現状です。市民との溝をどうやって埋めていくか、これから真摯に考えていかなければなりません。そして若い方がこうやってよそから来て住んでもらえるのはとてもありがたいことです。地元の方も戻ってこられるような環境を作っていかなければなりませんね。

——本日は対談にお越しいただきありがとうございました。

●督促手数料や延滞金徴収に関する利率が低くなりました。

### ▼市民生活を守る 補正予算

12月議会で成立した補正予算の主なもの

●除雪費に1億4千万円あまりを追加補正して、総額3億3千万円となり、完全除雪を目指します。

●防犯街路灯のLED化を進めます。

●富本地域市民センター耐震改修工事を来年度に繰り越します。

9月に2度実施し、いづれも業者が辞退して不調になった入札を、2月に行うために予算の繰り越しをするものです。東日本大震災の復旧などによる人手不足と資材高騰が原因で、今年市内で13件の入札不調がありました。

富本地域市民センターは平成26年8月に工事終了する予定です。

# 代 表 質 問

～ 新市長に問う～

市政クラブ 能 登 淳 一



## ◎ 市政運営全般

**Q** 市長は就任以来積極的な国、県への要望と、敬意を表する。市政運営の基本姿勢として、保守政治を基本とすると9月議会では述べられたと思うが、改めての所見を伺う。

**A** 保守の政治が紆余曲折はあったものの、戦後のこの国を創ってきたと思う。基本姿勢は「市民の幸福を求めて」みなさんとの議論を踏まえて努力していく。

## ◎ 第5次総合計画の進捗状況

**Q** 第5次総合計画の進捗状況と市長のコメント及び村山市のグランドデザインさらには、市長の考え方がわかるキヤッチフレーズがあるのか伺いたい。

**A** 総合計画の策定については、これまで2回会合を重ね、今後も現メンバーで話し合いを進

めていきたい。しかし、必要があれば新メンバーの加入も考えている。キヤッチフレーズは苦手であるが、「次世代につながる魅力ある村山市」。市民の幸福を目指す村山市像である。

## ◎ 産業政策は

**Q** 農業振興策としてこの度の「海外研修」は意義あるものと認識している。さて、米政策が大きく変化しようとしているが、時期を逃さず国県に要望すべき事はありますかと考えるが、国に直接面談した経緯も踏まえ所見を伺いたい。



オーストラリア海外研修

## ◎ 林業の振興策は

**A** フレンドリーな話し合いで、頼りになると感じた。しかし内容は複雑で、今後担当職員なども派遣して話を伺わせてもらえれば、レベルアップにもつながると思う。

**Q** 国、県は再生可能エネルギーとして、木質バイオマス発電等を進めている。さらに、森林税の国税化の議論もあり、森林の持つ多面的機能がさらに認識されつつあるが、林道等の整備が必要かと思うが、考え方を伺いたい。

**A** これまでも林道の整備は進めてきている。五十沢く湯舟沢線については集落間道路でもあり本来、市道として整備すべきものであるが、国の補助もある林道で第一に進めたいと思う。

## ◎ 工業振興策は

**Q** 09年のリーマンショック、11年の東日本大震災、円高、株安の影響で不況が続いてきたが都市部ではようやく好況感が出てきている。しかし、本市ではまだまだ実感できていない。今後の対応策について伺う。

**A** 建機関連は厳しいと認識はあるが、農機、自動車関連は消費税との関係で駆け込み需要の面もあるが、持ち直していると認識している。今後、企業コーディネーターの増員も含め、展示会等の開催支援も含め努力していきたい。



大久保小学校の子どもたち

**Q** ふるさとに帰り、自立して社会に貢献する若者を育てるには、教育長のこれまでの教育経験を踏まえどう考えるかお尋ねしたい。

**A** 村山市は、これまで、高い学力を有し知徳体も含め生きる力を育んできたと思う。自立協働できない若者については、複雑な要因があるかと思う。今後、食と農、自然体験等を通じて五感を養い、ふるさとへの思いを強く持つ子供達を育てたいと思う。

**Q** 障がい者の特別支援体制の強化について伺う。

**A** 要請に基づき、適時対応したい。

# ここが聞きたい 一般質問

## Q & A

本定例会の一般質問は  
12月4日・5日に9人の議員が行いました。  
質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

※一般質問のQ & Aは議員の原稿をそのまま掲載しています。



### 楯中グラウンド 再公認取得は必要

長南 誠議員

**Q** クアハウス基点は建設後30年を経過、施設の傷みが激しい。浴場は新築され大好評であるが本館改修計画を伺う。また別館を合宿できるように改築してはどうか。

**A** 別館を含めたクアハウス全体をどのような温泉地にしたいか等、計画を作り、方向付けをし第5次総合計画に入れ考える。別館は改造しなくとも考えるが今後の推移をみたい。施設全体の改築に大きな予算を投入するために、慎重にならざるを得ない。

**Q** 楯岡中学校グラウンドの公認が11月に切れた。震災による歪みの改修に金がかかるためである。二〇二〇年東京オリンピックが決定し強化対策が予想される。このような時期にこそ再公認を取得すべきである。管理も生涯学習課に移して

はどうか。

**A** 再公認取得は必要と思う。若い人の意欲を失わせることのないよう計画しやりたい。施設等は耐用年数を勘案し、基金を作り修繕すべきと考える。使用形態は現状のまま学校管理の下での

使用が妥当と考える。

**Q** 学校建設は多くの市民の意見を聞くべき。急傾斜地がある楯岡小学校改築を見直しては。

**A** 改築、耐震工事が途中まで進んでおり、これを踏まえ今後を考えたい。



再公認取得をめざす楯中グラウンド



## 定住促進の雪対策

井澤秋雄 議員

**Q** 河島山ニュータウンなど市の政策として

分譲した団地について、村山市は特別豪雪地帯であることから定住促進施策として手厚い雪対策をすべきと思うがどうか。

**A** せっかく村山に来ていただくにしているのもう少し手厚く、何が出来るか考えたい。

道路に雪が山のように置かれていたときもあつたが、そのようなことがないように頑張りたい。

その結果も見てみたい。雪を活用したイベントについても、何かあれば市も、一緒に考えたい。

**Q** 村山市の防犯灯のLED化は5%であり、今年三月に見直された村山市環境基本計画によれば環境都市村山の更なる推進として、これを挙げているが環境対策、省エネルギー対策は時代の要請であり、計画的な推進



手厚い雪対策が望まれる河島山ニュータウン

が必要かと思うが、その計画はどう考えているか。

**A** 防犯灯のLED設置に対する補助は、今年度引上げている。なお、環境基本計画に項目として挙げているが、具体的な計画がないので、今後計画的にLED化を進めていきたい。

**Q** 教育振興基本計画の策定について、重点事項を絞って作るべきと思うが、策定の見通しを聞きたい。

**A** 今年度末までに、基本的な方向性をまとめたい。



## 若者定着のために雇用確保を

長谷川 元 議員

**Q** 金谷北部工業団地の開発計画があるが、

現在どのようになっているのか。どのような企業が誘致対象なのか。市長が言う若者の定住対策のためには雪対策と同様に雇用確保が重要と考えるが、市長の考えは。

**A** ボーリング調査は終わっているが、昨今の状況から企業誘致は厳しい状況だ。まだ見つかっていない。若者の雇用確保は最優先課題だと認識しているが、まずは既存企業への支援を先にしていきたい。投資事業は費用対効果を考えながら進めていきたい。

**Q** 役所内のコンピューターに詳しい職員配置について考えてはどうか。情報環境が変化していく中で、人材育成も必要なのではないか。  
**A** 人事については今後の課題と認識する。

**Q** 光ファイバーの敷設の状況と情報化推進の考え方、SNSの防災

面での活用への考え方は。市内未整備地区に現在敷設している。1月14日頃を目途に供用開始できる。市内全域で光ファイバーが利用できる。

**Q** 一億数千万円かけて行う光ファイバーの

事業が市民のためになる意識して欲しい。独居老人のために端末を配って使い方を教えるとか、防災や市の広報にも使えると思う。老人の情報格差をなくすためにも必要だ。



1月中旬より市内全域で光ファイバー開通



## むらやま徳内まつりの未来は

布川 淳一 議員

**Q** 徳内ばやしが村山市の街づくりに対して、どのような影響を与えたのか。

**A** 街づくりには、良い影響は与えなかった。ただ活気だけは出た。徳内ばやしが生まれた20年前と比べて、楯岡が廢れているのを見ても街づくりになっていない。

**Q** 20年の記念すべき年にあたり、周年事業をどうするのか。

**A** 来年20周年というのは、先日聞いた。特に考えていないが、徳内ばやし振興会が来年、単独で厚岸に行くと言うので、市として何らかの補助を考えている。20周年の事業は実行委員会を考えて欲しい。

**Q** 祭りを二日にする案が出てくる。経費の面からの企画だが、市長の考えは。



笑顔輝くステージ演舞

**A** 来年は20周年なので三日で行く。資金が足りないなら駐車場の有料化など工夫をしても良い。市からの負担金の増額は考えていない。また現在300円の各戸の協力金の値上げは考えていない。

**Q** 来年6月から9月まで、デイステイネーションキャンペーンが開催

される。この事についての考え方を聞く。また市外の方から見た街の魅力再発見をすべきだ。

**A** 平成26年は交流人口200万人を目指す。市民の盛り上がりが無いと成功しない。まずは市内の観光資源の掘り起こしが必要だ。



## 中山間地農業に希望を

鈴木 健治 議員

**Q** 村山市の産業振興策特に、中山間地の農業支援の取り組みに、加工用米（酒米）での所得向上のためのプロジェクトの立ち上げ、さらに農工商連携の6次産業化の推進について伺いたい。

**A** 農地の大規模化や効率的な酒米取り組みを検討したい。さらに、6次産業化の推進の受け皿や流通ルートの検討をする。

**Q** 若者の地区外流出を止めるには、企業誘致が必要と考える。企業誘致の現状と、先に検討された金谷工業団地北部の造成計画を伺いたい。

**A** 企業誘致を数社に打診している。今後誘致活動を継続的に行う造成計画は、費用対効果を検討し、売れ残りが出ないような造成計画を進めていく。



中山間地の農用地

**Q** 災害対策としての、自主水源確保での幕井再開発は、工事費用対効果について検討すべきではないのか伺いたい。

**A** 数字だけが独り歩きしている。今後事業の取り組みについて費用も含め検討する。

**Q** 村山市の災害復旧工事の入札の現状と対応について伺いたい。

**A** 企業の人員不足や原材料の高騰で、不調となる事業が出ています。国・県の動向を伺いながら対応していきたい。



## 市政方針について

須藤和幸議員

**Q** 新年度予算編成にむけた基本的な考え方は。

**A** 今の市政にいろいろな課題がある。この解決に直結する予算編成、これを基本に取り組んでいる。中身については大まかなことしか決まっ

ない。

**Q** 予算規模としては、どれ位を想定しているのか。

**A** 経常経費が相当な規模である。余裕の分が例年より少ない。これを積み上げてどれ位にな

るか。規模につきましては、まだ今のところ積み上げはしていない。

**Q** 主要事業についてはどう進めるのか。

**A** とりあえず、来年度除雪の委託料はきちんと組んでいきたい。それから人口対策、すべてはこれに直結している。保育科の半額については、来年度から実施したい。

**Q** 何とかさんなね、市を変えろ、としているわけであるからわかりやすい方向性を出すべきではないか。

**A** 私としては、予算を1回も組んでいないのでわからない点も多々あると思う。これから見ていってほしいと思う。



## 幕井浄水場建設計画は見直すべき

川田律子議員

**Q** 市長は先の議会で、幕井一帯の開発の計画を述べているが、浄水場建設計画は見直すべきと考える。その理由として①水量の十分な確保は出来るのか。また建設費の投入が将来の市財政の圧迫市民の負担になるのではという懸念。②村広水ではこの度の6市町にわたる大規模な断水に対し、多額の予算を投入し、設備の増強、ソフト面でも対策を講じた上で、料金の値上げはしないとある。市長の考えを問う。

**A** 30億円という建設費については精査していききたい。本市には活断層があり、大規模災害に対する備えとして自主水源が必要と考えている。その場合費用対効果は考えない。自治体間の水の融通はむずかしいと考える。

**Q** TPPでは農林業だけでなく、自治体の行財政にも影響を与える内容が含まれている。自治体としての対応は。

**A** TPPは基本的に反対である。自治体として最大限努力する。まだ見えない状況なので、はっきりした段階で手を打っていく。

**Q** TPPを見越しての減反廃止で村山市の農業や人・農地プランへの影響は。

**A** 農政は問題があるから変わらなければならない。見守っていきたい。人・農地プランは順調に進んでおり、新規就農者は昨年、今年で15人である。



賑やかな村山市のシンボル徳内まつり



幕井の水源地で行われる水道祭





## 消費税増税分を 公共料金に転嫁するな

中里芳之議員

**Q** ①消費税増税がもたらす市民生活への影響をどう考えるか。②消費税増税分を公共料金に転嫁すべきではない。水道料金等の引き上げ条例案の撤回を。③施設使用料や小中学校給食の値上げは行うべきではない。

**A** ①消費税増税は社会保障の充実にぜひとも必要。結局、還元されて必要な人に回っていく。②上下水道について値上げはやむを得ない。③一律に値上げしないことはある意味金持ち優遇だ。一食8〜9円の給食費値上げは我慢してもらって弱者については国の制度で生活保護とかいろいろある。

**Q** 国がすすめている社会保険制度改革で、市民にとって良くなるものはあるのか。

**A** (答弁なし)

**Q** ①灯油価格は上昇し食料品や電気料金の値上げ、年金引き下げ等で低所得者は厳しい生活を強いられている。福祉灯油券の助成額の引き上げを。②新しい除雪体制で自力除雪困難な高齢者への対応が後退しないように配慮を。

**A** ①今のところ考えていない。②特別な対応は考えていない。

**Q** 春先の農道除雪は受益者負担なしとすべきではないか。

**A** もう少し検証し改良する。



4月から上下水道料金にも消費税増税分が転嫁



## 村山市の資源の活用

森一弘議員

**Q** 消火栓の水は水道水。断水時に火災発生が起きた場合大丈夫か。水は飲料・消防・産業等あらゆる分野で重要なもの。水資源の調査、確保利活用と「水行政」を構築すべきでは。

**A** 消防の第一水利は防火水槽。充足率90%で年次計画で設置。断水時の火災発生でも大丈夫。

**Q** 先進自治体では、「起業」を手助けする部署を設け、やる気のある人が気軽に相談できる人員を配置している。当市でも資源を生かした各産業の育成を。ふるさと納税では、知恵を出し前向きな取り組みが成功している様だが、次はリピーターを増やす努力をすべき。

**A** どういう事をするのか調べてみる。やり方次第で成果が得られる。常に探求する職員を育てていく。

**Q** 交流事業を通じた政策も市が発展する素材と考える。いかなる付き合い方を考えているか。

**A** トップ同士の交流だけでなく、市民を引き入れた次に繋がる交流産業が活発になる交流事業をやっていく。

**Q** 発想としては面白い。柔軟な発想をもった職員を育てることが私の役目と思っている。



消火栓による自主防災訓練

# 議会報告会開催!

議会基本条例で定められた第4回議会報告会が開催されました。今回は榎岡、富本、西郷、大久保の4地域で開催し、2班に分かれて出席しました。議会報告会の内容は、24年度一般会計決算、特別会計決算の概要を説明し、総務、文教厚生、産業建設の各常任委員会での審議内容を報告しました。その後、参加された市民の皆様から質問や意見をいただきました。各地域とも市民の関心が高く、活発な議会報告会となりました。特に榎岡地域では47名の参加者があり、多くの質問・提言がありました。

報告会では、報告会でご要望を今後の議会活動に反映させていきたいと思っております。

## 市民からの意見・要望と対応

【以下については執行部に対し報告いたしました。】

- 飆葉プラザの維持管理の費用対効果はどうなっているか。

- 企業誘致は、どのような条件で臨むのか。

- 総合計画の策定がストップしているが今後どう進めるのか。市長がかわったことにより、委員の人選はどうなるのか。

- 雪捨て場として利用していた県有地は、メガソーラー敷地となった。今



榎岡地域

- 市長は除雪に力を入れると言っているが、地区に対して支援してほしい。
- 市民の声に耳を傾けすぎないか。限られた予算で、要望に応えられるか疑問である。
- 給食費も納められ

後、雪捨て場の確保はどうするのか。

- 大久保小学校改築事業の経緯について聞き

- 行政委員の報酬を引き下げる声が聞こえるが、業務は大変で、報酬は引き上げるべきでは。

- 防犯灯のLED化の推進を望む。

- 河島山地区に消火栓が3か所設置されているが、全戸をカバーできるのか検討してほしい。



大久保地域

ない人がいる。色々な施設の維持管理費も掛かるが、まず弱者救済対策を考えてほしい。

- 富本市民センターの耐震改修工事の入札が決まっているが、市民センターの工事はいつごろか。4月に入ると、各種団体の使用頻度が多くなるがどのように対応するのか。

- 家庭介護に補助金をだす制度を考えてほしい。

- 河島街道沿いの大沢川の移動後、沿道の開発はどうなるのか。

- 榎中のグラウンドは公認にならないのか。是非、公認のグラウンドが欲しい。

- 幕井ランド計画は費用対効果が疑問だ。
- 河西地区に児童遊園地が欲しい。

【以下については議会に周知しました。】

- 市長の給料は減額になり、市職員も削減の方向と思うが、議員の定数、報酬は今後どう考えるか。
- 議員も市のボランティア、イベントなどに積極的に参加するよう望む。
- 市議会の定数は、他の市町村より議員数が多く削減すべきである。

次回の報告会は、3月の議会終了後に予定しております。開催地域は、戸沢地域、大高根地域、大倉地域、袖崎地域を予定しております。

回覧等で皆様にご案内いたしますので、多くの市民の参加をお待ちいたします。

# 議会を見て 聴いて 思った

12月4・5日楯岡小学校6年生が  
傍聴に来ました。

## 大沼 若奈

私は今回初めて市議会を見学しました。見学の話を聞いた時は、少しの人数でやっているのかなあと思っていました。ですが、いざ行ってみると議員さんの席がたくさんあり、緊張感が伝わりました。色々話を聞いた中で私は一番市民の声を反映させて提案しているということに心が残りました。私たち市民のことを真剣に考えてくれていることがわかり嬉しくなりました。いつもありがとうございます。これからも村山市のことをよろしく願います。

## 寺西 海琴

私は市議会を

見せてきて、思わずありがとうでございます、と言いたくなりました。なぜなら、市長さんや議員の方々が私達の村山市のことを真剣に考えてくださっているからです。こんなに真剣に考えてくださる人がいるから、私達は快適に過ごせているのかな、と感じました。これ



真剣に傍聴している皆さん

## 田村 蘭

私は市議会を見て、すごく村山市のことを考えているんだなと思いました。私は市議会議

員に知っている方がいますが、いつもはここにしているのにも真剣な顔つきでとてもびっくりしました。市議会でもとても緊張して、私は市議会議員にはなれないなと思いました。あんな所で自分の意見を堂々と言うのはとても難しいと思います。市議会のみならず、いつも村山市のことを考えてくださってありがとうございます。これからもよろしく願います。

## 松田 輝

市議会見学をして、私は除雪について話合っている所が議員の方たちと一番話を通じたと思います。私は他の市に負けないくらい除雪に力を入れてほしいと思っていました。議員さんの意見を聞いて、村山市の除雪の仕方に対する私の意思はもっと高まりました。議員さんの話を聞いて、私達若者の事を優先に考えてくださっていたので、村山市がほころしく思えました。

## 産業建設常任委員会 管内視察

11月21日、水道祭、下水道祭終了後、楯岡・袖崎地域を中心に、水道課環境課所管の事業、施工中の工事状況を視察しました。村山駅西地区開発事業に併う国道13号配水管推進工事及び村山公共下水道駅西25-1工区工事・県道東根尾花沢線鶴ヶ町地内下水道マンホール高調整工事・民間会社による太陽光発電所・赤石高玉処理施設移転転体工事・最後に災害時の緊急連絡管、土生田第七地区の配水管連結事業について説明を受け視察しました。順調な事業推進を望むものです。



駅西地区開発工事現場

## 審議結果報告 (12月定例会において賛否の分かれた議案についてのみ記載しました)

議員名	議決結果	市政クラブ							青風会		日本共産党 村山市議団		無党派		賛 成	反 対			
		井澤 秋雄	長谷川 元	長南 誠	鈴木 健治	森 一弘	能登 淳一	秋葉 新一	柴田 好美	茨木 久彌	佐藤 敏彦	布川 淳一	須藤 和幸	川田 律子			中里 芳之	佐藤 昌昭	大山 正弘
市長提出議案	条	村山市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	議	14	2
	例	村山市水道事業給水条例等の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	議	14	2

正副議長及び監査委員は会派に属しません。議長は可否同数の場合以外は採決に加わりません。

○=可決    ☒=否決    ⊙=賛成    ⊗=反対    ☒=欠席    ⊖=退席

(お詫びと訂正)

11月15日号4ページ 平成25年第5回定例会審議結果報告の中で賛否(○×)の記載に誤りがありましたので、お詫びして訂正します。正しくは下記のとおりです。

議案名 「村山市課等設置条例等の一部を改正する条例」 佐藤敏彦議員 × 佐藤昌昭議員 ○

# 市民の声



原田 大介 さん (西郷)

**私** が住む西郷の名取地区の消防団は、地区の無火災、防災に

力を入れています。

毎年、秋に行われる地区の防災訓練では、自主防災会などと連携し、いつ起こるか分からない火災、自然災害に迅速に対処できるようにしています。様々な訓練をしているので、消防署員の方々から褒められるほどです。

しかし、地区と協力していても、毎年、新入団員の確保がとても大変です。「酒呑みだけ」というイメージがあるのか、若者達はなか

なか勧誘に承諾してくれないのが現状です。最近では、お酒を呑めない人も増えてきているので、強制ではない呑みニケーションの場を設け、いざという時のチームワークを培っています。年に一度あるポンプ操作の大会では、最優秀賞を獲得するために一ヶ月前から練習し、絆を合言葉にみんなで仲良く頑張っています。

「力強い仲間、求む!!  
消防団」



西郷地区防災訓練



一斉放水



分列行進

## 第3回

## 議会だよりクイズ

**Q1: 6月15日リニューアルオープンしたクアハウス 基点の温泉利用者数は11月16日現在何万人 だったでしょう?**

- ①8万人      ②9万人      ③10万人

**Q2: 平成25年度の除雪費(総額)としての予算はいくらでしょう?**

- ①1億1千万円      ②2億2千万円  
③3億3千万円

### 応募方法

- クイズの答え、住所・氏名、年齢をお書きのうえ、郵便はがきでご応募ください。
- 正解者の中から抽選で3名の方に粗品を差し上げます。
- 締め切り 平成26年1月31日(当日消印有効)  
あて先 〒995-8666 村山市中央1-3-6  
村山市議会事務局

### 編集後記

議会だより編集委員も議会の構成替えに伴い、新メンバーになりました。私は委員長として議会だよりの役割は、議会基本条例に則して議会の役割分担の中で議会の活動を出来るだけ市民に鮮明に伝えなければならぬと考えます。宜しくお願ひ申し上げます。  
(大山正弘)

#### 《新議会だより編集委員会》

委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
井沢秋雄	長谷川元	布川淳一	能登淳一	秋葉新一	川田律子	大山正弘

